「ChatGPT」等の生成AIを利用する際の注意喚起

「ChatGPT」等の生成AIの利用について現時点での注意事項をまとめました。

既に使用している方もいらっしゃるかと思いますが、業務利用上の注意喚起として本通知を案内いたします。

以下AIを利用する上での懸念事項、活用時の注意点等を記載しますので確認ください。

* **生成系AIを利用するうえでの懸念事項**

1. **効率性の損失**

AＩに頼り過ぎることで、従業員のスキルが低下し、将来的に問題解決能力や効率性が損なわれる可能性があります。

1. **機密情報漏洩のリスク**

AＩへの入力内容に顧客情報、企業秘密や個人情報等の機密情報が含まれている場合、ネットワーク上に記録され、第三者による不適切な利用や流出のリスクが存在します。

1. **誤情報の拡散**

AＩの回答が間違っている可能性があります。そのまま流用すると、誤情報の拡散に繋がります。

1. **法令順守の問題**

著作権やライセンスに抵触する可能性がある場合や、個人情報の扱いによっては法律（個人情報保護法）に抵触し罰則が科される可能性があります。

* **生成系AI活用時の注意点**

1. **AI活用における自己判断と情報流出の管理**

AIは100%正確であるとは限らず、ユーザーが提供した情報や学習データに依存しますAIを利用する際は、自分で考える事を怠らず、必要に応じてチームメンバーや上司と相談しながら適切な判断を行ってください。また、情報流出のリスクを最小限に抑えるため、AIで生成された結果や情報は、必要な範囲でのみ共有し、適切なセキュリティ対策に講じてください。また、ChatGPTを使用する際には「Chat History ＆Trackingを無効にする」設定を必須とします。

1. **会社名や企業秘密、顧客情報や機密情報はAIに入力禁止**

顧客情報、企業秘密や個人情報等の機密情報をAIに入力しないよう注意し、情報漏洩のリスクを回避してください。

会社名を入力すると会社名との組み合わせで様々な情報が漏洩していく可能性がある為、会社名の入力も禁止します。

1. **個人情報保護法、著作権などの法令順守**

AIを利用する際は関連法規に従い、法的なトラブルを避けるように努めてください。

1. **信頼性と適切性の確認**

AIの出力結果を鵜呑みにせず、利用する前に正確さや適切性をチェックし、誤った情報や不適切な情報の拡散を防いでください。会社のブランドや信頼性を保つためにも必要です。

1. **社内利用に限定**

AIで生成された文書や解析結果は社内専用のドキュメントやコミュニケーションツールでのみ共有し、外部向けのプレゼンテーションや公開資料には直接使用しないでください。あくまでもツールであり、その提供する情報を元に行動を起こす際の最終的な責任は使用者自身にあります。

1. **他者のアイデアや作品の無断使用の禁止**

AIの生成物が他人の作成した著作物だということが分かった場合、適切なクレジットや許可を得てください。AIの生成物を他者の作品として無断で利用しないでください。

1. **知識向上**

AIの適切な利用方法やリスク等を含めた知識向上のために、各自情報収集し、意見交換や情報共有するように努めてください。

1. **モニタリングと監督**

AIの使用状況を定期的にモニタリングし、ルール違反や問題が発生した場合には適切に対処します。

1. **効率性や人間性のバランス**

AIの活用による効率性向上を目指す一方で、従業員のスキルや創造性を重視し、人間性を尊重することを忘れないでください。

* **生成系AIの具体的な使用例と禁止例**

**◇使用例**

以下の使用例についても、生成された情報が正しいとは限りません。

活用する場合は、内容を十分確認して使用してください。

* 文章の翻訳や要約、校正としての利用
* メールテンプレートの作成
* データ収集
* アイデア出し

**◇使用禁止例**

　　　 著作物に関係する可能性や機密情報漏洩の観点から、以下の使用方法は禁止です。

* ソースコードの解析
* 生成したソースコードをそのまま使用
* SNS、ブログの文章作成
* 広告のコピー作成

**例外:　プログラミング研修の場合**

* プログラミング研修の学習素材(書籍、動画教材、webサイト)のソースコードに対しての生成AIを使った解析は問題ありません。
* AIが出力したコードの意味を理解した上で使うようにしてください。また、課題提出時は講師にコードの意味を聞かれてもすらすら説明できる状態でなければAIが出力したコードを提出物に含めてはいけません。AIが出力したコードの意味が分からない際には、AIにコードの詳細を質問したり、WEB上の情報や書籍を参照したり、自分でデバッグ等しながら動作確認をしてください。

※面倒と思えるかもしれませんが、コードを理解できるようになるまで調べることができれば着実に実力がつきます。

* AIが生成する答えが間違っている場合もあるので、AIに頼りきるのでなく、WEB上の情報や動画教材、書籍等も参照しながら学習を進めてください。

※AIが質問に対して間違った回答をすることをハルシネーションと呼びます。

不適切に使用してしまうと、トラブルが発生し、効率性が損なわれ、生産性が低下する可能性がありますが、

適切に使用することで初めて効率性と生産性を大幅に向上させることが可能です。

以上、よろしくお願いいたします。